

平成27年度 第1回小牧市児童館運営委員会会議録

日時	平成27年7月9日 木曜日 10時～11時	
場所	市役所本庁舎 3階 301会議室	
参加者	運営委員	永井勝彦、丹羽三枝子、来治英治、宮内真由美、船橋由美、辰川みつゑ、大藪徹也、沖本喜久江、石原佑美、山下美和
	事務局	小塚部長、鍛冶屋次長、須崎課長、平岡課長補佐、清水センター長、杉山館長、森川館長、波多野館長、山本館長、水野館長、芦田館長、坪井館長、日比野係長、丹羽
欠席者	運営委員	無
傍聴人	無	
司会	須崎課長	
1 こども未来部長あいさつ	<p>本日はご多忙にもかかわらず、第1回小牧市児童館運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には本市の教育・福祉行政の推進に日頃より格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、平成27年3月に小牧市では「みんなでつくろう こどもの笑顔があふれる未来 こども夢チャレンジNo.1都市 こまき」を基本理念とした、小牧市子ども・子育て支援事業計画を策定しました。</p> <p>今後、小牧市ではこの計画に沿って家庭、学校、地域社会、行政などが互いに連携して子ども達が自らの未来に夢や希望をもって成長できる政策を実施してまいります。その中で児童館事業が果たす役割は大きいものと思います。</p> <p>本日は、児童館の活動目標をキーワードに、児童館の役割と今後のあり方について、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>	
2 自己紹介	運営委員、事務局の順に自己紹介。	
司会	会議の定足数に関して報告します。小牧市児童館の管理に関する規則第14条第2項で過半数5名の出席が必要とされていますが、本日は10名の委員が出席しており、会議は成立しています。	
3 委員長、副委員長選出 司会	<p>昨年度の委員会で、委員長には山盛委員、副委員長には丹羽委員がそれぞれ選出されたが、委員長を務められた山盛委員が、少年センター所長を退職され、これに伴い委員についても退任されました。したがって、現在、委員長が不在となっており、委員長の選出をお願いします。</p> <p>規則第13条第1項において「委員会に委員長及び副委員長1人をおき、委員の互選によってこれを定める。」とあるが何かご意見はございますか。</p>	
大藪委員	少年センター所長の永井委員を委員長として推挙します。理由としては、少年センター所長は各児童館を回っていて運営のことをよく分かっていると思うからです。	
司会	<p>少年センター所長の永井委員に委員長をお願いしたいという意見をいただきましたが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>皆様の推薦をいただきましたので、永井委員に委員長を、丹羽委員には引き続き副委員長をお願いします。</p>	

	委員長、副委員長からあいさつをお願いします。
委員長	<p>児童館を回っていて、各児童館でいろいろな工夫をされていました。児童館という名前ですが、小さいお子さんから高校生ぐらいまでいろいろな年齢層に開放されていて、改めて見させていただくと大変な仕事だなと思うと同時に小牧市が進めていく政策にとって大切な施設だと感じています。</p> <p>一部中学生がジュニア奉仕団という形で前向きに関わっている場合もありますが、逆に迷惑をかけているという話も聞きます。それを含めて、よりよい児童館運営ができればと思います。</p>
副委員長	<p>小牧市は「こども夢チャレンジ No1 都市」を目指して取り組んでいるわけですが、大変注目される児童館ということで、子育て小牧の宝にしていきたいという思いです。微力ながら皆さんと小牧の宝を健全に育てていきたいと思えます。委員長を補佐し任期を全うできるよう願っております。</p>
司会	<p>それでは、議題に入ります。ここからの委員会の進行につきましては、規則第13条第2項で「委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」ことが規定されていますので、永井委員長よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に入ります。(1)平成26年度児童館実績報告について、事務局の説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>平成26年度児童館利用実績報告について(資料1により説明)</p> <p>各児童館には子育て支援室があり、0から3歳までの乳幼児と保護者がゆったりと過ごされています。どの児童館も子育て支援室の利用者は増加傾向にあります。反面児童クラブの年齢が引き上げられ、平日の小学生の来館が減ったように感じます。</p> <p>小学生が楽しめる工作のようなことを取り入れ、各館工夫をしています。</p> <p>児童館行事別利用人数について(資料2-1により説明)</p> <p>児童センターでは「遊びをとおして友だちとの輪を広げる」という目標で行事の計画を立てています。季節的な行事や伝統的な行事、児童センター独自のイベントなど職員で意見を出し、昨年の反省を生かしながら企画しています。</p> <p>昨年は夏休みお楽しみ会が好評でした。初めてのイベントでしたが、中学生ボランティアがいろいろな意見を言ってくれました。子どもたちが積極的に企画に参加してもらえれば、もっと楽しいイベントになると思います、今年もこどもスタッフを募っています。</p> <p>子どもを取り巻く環境は変わってきていますが、子ども本来の興味、好奇心は変わっていないということを大切に今後進めていきたいと思えます。</p>
味岡児童館長	<p>(資料2-2より説明)</p> <p>味岡児童館にふさわしい内容を考えながらイベントを企画しました。月1回サポーターミーティングを開き、行事について話し合いました。</p> <p>特にサマーフェスティバルについては実行委員会を立ち上げ、地域の方、中学生、高校生を巻き込んで開催し、サポーターは50名程度参加いただきました。</p> <p>子育て支援として産後ヨガを実施し、子育てのお母さんを支援しました。全体として、来館者が多いので駐車場の問題はありますが、地域の方に協力していただいで安全に楽しく実施することができました。</p>

篠岡児童館長	<p>(資料2-3により説明)</p> <p>地域のおやじの会が協力的で、お父さん、お母さんがそろってイベントに参加される家族が多く見受けられます。</p> <p>篠岡中学校のボランティアに行事ごとに参加してもらっています。</p> <p>館庭があるので、ドッジボールやサッカーをしている子どもたちを微笑ましく見えています。2階に勉強部屋があり、以前は利用者が少なかったのですが、最近は高校生の利用が増えています。</p> <p>英語講座の人气が高く、昨年7月から「ハローイングリッシュ」という講座を開いていますが、すぐに予約が埋まってしまう状況です。</p>
小牧児童館長	<p>(資料2-4により説明)</p> <p>「いろいろな遊びや体験を通して友達との輪を広げる」という目標で行事を企画しています。夜のお化け屋敷は雷雨で中止となってしまいましたが、翌日昼間に実施しました。</p> <p>児童館利用者との非難訓練では第三保育園と合同で実施し、起震車体験してもらいました。また、恒例となった3地区合同消防訓練では地域の方の意識も高まり、参加者も増えてきました。</p> <p>3月の児童館まつりでは5周年記念として「みなくるこまき」の愛称が決まりました。これからも大勢の方に集まってもらえるような児童館にしていきたいと思います。</p>
小牧南児童館長	<p>(資料2-5により説明)</p> <p>コミュニティーセンターと併設されているので、共同の企画が多い状況です。季節感のある行事を重視しており、特に節分のときは400名近く参加されました。夏まつりではコミュニティーセンターとの共催で全館を使ってイベントが開催されます。運営協議会の模擬店や物産展、おばけ屋敷など500名ぐらい来館されました。</p> <p>地域との交流をメインに考え、地域の中の児童館という位置づけでこれからも頑張っていこうと思います。</p>
北里児童館長	<p>資料(2-6により説明)</p> <p>26年度から全日開館となり、利用者数が増えました。館内の環境を整えて掲示をわかり易くしました。乳児と幼児を連れた親御さんが安心して遊ばせられるように集会室の環境を変えました。</p> <p>月曜日開館を周知することを意識したイベントを開催しています。</p> <p>子育て支援室では、ぴよぴよ広場を月曜日に開催するようにしました。また、今までは6ヶ月ぐらいの乳児から入室することが多かったのですが、保健連絡員の赤ちゃん訪問での紹介やベビーマッサージを機会に2ヶ月の乳児を連れて来館される方もみえるようになりました。</p> <p>20周年の夏まつりでは「きたっこハウス」という愛称が決まりましたが、昨年度は「きたライオン」というキャラクターが新たに決まりました。</p> <p>ジュニア奉仕団や特別支援学級の受入をしています。</p> <p>行事を工夫して、利用者の意見を取り入れて、ますます地域とつながっていただけるように努力していきたいと思います。</p>
西部児童館長	<p>(資料2-7により説明)</p> <p>館の特性を生かした取組みをしています。</p> <p>併設のコミュニティーセンターとの連携を重視しています。運営協議会や施設ボランティアや小中学生のこどもプランナーと一緒にイベントを作り上げていくことを意識して進めてきました。</p> <p>芝生広場の隅に畑を作り、じゃがいも掘りや春と秋に開催した運動会もとて</p>

大城児童館長	<p>も好評でした。さらに今年も施設を有効利用できるイベントを考えていきたいと思ひます。</p> <p>昨年は長期休み期間のイベントが多くなかったので、利用者も少なくなつてしまひましたが、今年度は長期休み期間のイベントを数多く企画していきます。</p> <p>昨年度好評だったイベントは残して内容を充実させつつ、コミュニティーセンターと地域の方と連携をとつて取り組んでまいります。</p> <p>(資料2-8により説明)</p> <p>「楽しさのシェアリング」という重点目標により、地域とともに多世代でシェアリングしながら事業を進めました。</p> <p>26年度は子育て支援の充実ということで、職員の研修を含めお母さん方を支えられるように会話を交えてどこまで支援できるかということに力を入れてきました。</p> <p>0歳児の親子に来てもらえるよう、赤ちゃんサロンの開催数を増やしました。中高生の居場所ということで、クリスマスコンサートで日本一の小中学生ジャズバンドに来てもらう際には、中学校と事前に打合せをしてどのようなセッションができるかなど学校と綿密に連携し内容の充実を図りました。</p> <p>わらべかんまつりでは地域の方や中学生にサポーターとして入ってもらひ、準備から当日の運営まで協力してもらひました。</p> <p>また、多文化共生にも取組み、日系ブラジル人の職員を介して通訳のサポートや翻訳版の作成をしています。</p> <p>夜9時まで開館しており夜のコンサートを設けて、地域の大人が児童館に親しんでもらうことから、子育てを多世代で行えるように配慮して運営しています。</p>
委員長	<p>いろいろな活動を聞いて改めて素晴らしい活動をされていました。これから委員の皆さんに意見などいただきたいと思ひます。</p>
沖本委員	<p>味岡児童館の地域のサポーターとはどのような方がされているのですか？</p>
味岡児童館長	<p>児童館を作るときに「つくる会」という会を発足して、館庭に築山やかまどをつくつて、地域で盛り上げようということになりました。児童館ができて「つくる会」のメンバーや地域の方がサポーターとなっています。最近は中高生が協力してくれるようになりました。80名ぐらいの方がサポーターに登録してします。</p> <p>年齢もバラバラで年配の方は子どもたちと一緒に遊んでいただいています。</p>
委員長	<p>子ども達がサポーターとして関わっているということですが、学校の立場としてはどうでしょうか？</p>
大藪委員	<p>中学生がボランティアを継続して行っているとのことでしたが、こういうことは必要なことと思ひます。小学校の高学年となると遊びの中でリードすることも徐々にやっけていけるのではないかと、いきなり中学生でやるのではなくて、児童館を使っている高学年の児童を上手に使うことでそういったことができると思ひます。</p> <p>いろいろな家庭があり家で遊べないから児童館で遊ぶという子どもが中にはいるかもしれませんが、利用する子どもを育ててもらえるとありがたいと思ひます。</p>

小牧南児童館長	こどもプランナーという組織を4館（北里、南、西部、小牧）でつくっていきまして、小学3年生以上の児童が月2回集まってもらいイベント企画などを考えてもらっています。リーダー性を育み、学校で目立たない子が活躍できる場を与えているような状況です。
委員長	何名ぐらいいますか？
小牧南児童館長	館によって違いますが、小牧南は20名、小牧は10名ぐらいです。
辰川委員	中学生が行事に積極的に参加してもらっているという、ありがたい話ばかりでしたが、逆に普通に遊びに来て迷惑をかける中学生はいないのでしょうか？
委員長	このあたりに詳しいのは児童センター長だと思いますので、どうでしょうか？
児童センター長	そういった中学生も足を運んでくれます。そういう子どもにも利用してもらいたいと思っています。見守りつつ注意をしながら受け入れています。今朝の7時50分ぐらいに21歳になった方が2人でやって来て、いろいろしゃべりかけられて対応しました。18歳を過ぎても会いに来てくれますので、つながりを大切にしたいと思っています。
委員長	以前、児童センターを訪れたときにセンター長に迷惑かけて大変でしょうという話をしましたらセンター長が「来てくれることが嬉しい」と言われました。世間では扱いにくい中高生を小さい頃から見ているので、そういった子どもたちの居場所が必要だと感じてみえました。大変なことだと思いますが、あえて「来て欲しい」と表現されたのですごいと思いました。児童館の話で「地域との連携、交流、協働」という言葉をたくさん聞きましたが、児童委員、民生委員の立場から何か発言はありますか？
宮内委員	民生委員の立場では、生活困窮者、介護などをメインでやっているのですが、近所の子どものことについては分かっても他の子どものことまではわからない状況です。実際自分の地区にどれぐらいの子どもがいるのか全く把握できておらず、昨年度学校に行って、学年の人数、性別などどのような子どもがいるのか話をしてきました。児童館に行くと地域が見られるので児童館の存在はありがたいと思います。民生委員の立場で、もし何かあれば我々に相談してください。見守りや協力などさせていただきます。
来治委員	小牧原地区を担当させてもらっていますが、主任児童委員になってからは平和で特に何もなく、月1回のパトロールで回っても特に問題はありません。これからは児童館へ足を運んで、皆さんとコミュニケーションをとって、少しでも何かに関わっていきたいと思いました。
船橋委員	主任児童委員になって2年目で、まだ何をやっていいのか分かっていない状況ですが、篠岡地区は皆さん平和といわれています。自分に何ができるのか考えているところで、皆さんにいろいろ教えてもらいながらやっていきたいと思っています。児童館のいろいろな取組みが聞けて勉強になりました。

委員長	<p>児童館の役割の中に子ども会や母親クラブ等の育成、助長というのがありますが、子ども会の立場で何かありますか？</p>
山下委員	<p>南部コミュニティーセンターに行くことが多いのですが、子どもがたくさんいて、のびのびと過ごしています。先生方がいつも見守ってくださっているので、子どもが安心して遊べると思うので、とてもありがたいと思っています。子ども会の方たちも打合せの場として利用していて、同じ空間に子どもがいると様子が見えて、普段の友達と遊んでいる状況がわかるので、親御さんにとってもいいと思います。</p>
石原委員	<p>自分が子どもの時は、暗い神社のような近くの公園で待ち合わせて遊んだり、車がたくさん通るようなところで遊んでいましたが、それを思うと快適な環境で、安全に見守ってもらいながら遊べる環境があって幸せだなと思います。幼稚園で仲が良くて別々の小学校にいった友達と児童センターでお世話になることもありました。</p> <p>魅力的な講座を企画されていて、PTA の講座を企画するときの参考にさせていただきたいと思いました。</p> <p>もうすぐ中学校にあがりますが、指導的な立場で関わっていく姿を見るのを楽しみにしたいと思っています。</p>
副委員長	<p>皆さんが心をこめて、時には厳しく時には笑顔で温かく見守ってくださっていると感じました。児童館を利用する子どもたちは、家庭や学校で出さない顔を児童館で出しているなど思ったことがよくありました。</p> <p>来館したら名前を書いてもらうことになっていますが、中には本名を書かない子どもがいますが、次に来るときは名前を書いてくれました。</p> <p>気長に付き合う関係がいいと思いました。</p> <p>子どもだけに限らず幅広い年齢層になくってはならない存在でみんな心の拠り所にしてほしいと思います。これからも笑顔で温かく迎え入れて、時には厳しくやってもらいたいと思います。</p> <p>もうすぐ恐怖の夏休みがやってきますが、心をこめて接してもらい、乗り越えていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>少年センターでは小学校5年、中学校2年、高校1年の生徒にアンケートをとっていますが、その中で、「どんなところに住みたいですか？」という問いには「空気がおいしくて自然がいっぱいなところ」という回答が多く、2番目に多かったのが「映画館、劇場、公園などの施設が近くにあるところ」でした。特に中学2年は、近くに遊べる場所があるのがいいという回答が30%ありました。</p> <p>「自分の住んでいる街が好きですか？」という問いには「好きではない」とか「無回答」などマイナスの回答をした割合について、平成16年度は20%、平成21年度では17%、平成26年度では11%とだんだんと減ってきています。これは小牧市や児童館をはじめたくさんの方々が努力して居場所をつくっていることが大きく、児童館のやってきた成果が上がっているとこの調査から読み取ることができると思います。</p> <p>平成26年度はみなさんがいろいろ工夫して、新しいことに挑戦していることが分かりました。</p> <p>続いて議題(2)平成27年度児童館運営委員会開催計画について、事務局の説明をお願いします。</p>

児童センター長	<p>(資料3により説明)</p> <p>今年度は今日を含め2回開催する予定です。 次回は2月に開催し、今年度実施予定の利用者アンケートの結果報告や来年度の目標設定などを提案する予定です。</p>
委員長	<p>ただいま説明があったことに対して何か意見はありますか？ 特にないようですが、全体をとおして何かありますか？ これで議題については終わりましたので、事務局にお返しします。</p>
司会	<p>その他について児童センター長から説明してもらいます。</p>
児童センター長	<p>児童館のしおりについて、4ページの表の日付や曜日の変更はありますが、他の項目について変更はありません。</p>
司会	<p>本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。 児童館は子どもたちにとって身近な居場所となっています。どこの児童館でもおとなしい子や横着な子もやって来ますが、それぞれ愛情を持って接しています。 主任児童委員と児童館の関わりということですが、10人村に委託している大城、篠岡、味岡の3館では地域運営協議会をつくってしまして、主任児童委員の方々には委員として、年3回の会議の中で児童館の様子を披露しています。 他の児童館についても主任児童委員や民生委員の方々へ積極的にイベントの案内をしていけたらと思います。身近な地域の方が児童館に入っていけるような敷居の低い仕組みづくりをこれから考えていきたいと思います。 これをもちまして、平成27年度第1回児童館運営委員会を閉会します。 本日はありがとうございました。</p>